

目次

凡例
資料解説

一 張鼓峯事件

- 一 張鼓峯事件の経緯（朝鮮軍司令部）……………三
二 張鼓峯事件経過暦日表（参謀本部支那事变史編纂部）……………四

二 ノモンハン事件

- 三 ノモンハン事件機密作戦日誌（第一卷）（関東軍参謀部第一課）……………七

- 四 ノモンハン事件機密作戦日誌別紙……………一〇三

- 一 陸軍省、参謀本部主要職員表 二 関東軍職員表（軍司令官及参謀のみ） 三 軍師団主要職員表、第二飛行集
団職員表 四 満「ソ」国境紛争処理要綱（関作命第一四八八号別冊） 五 第二十三師団長猪関東軍司令官宛（小
本参電一九四） 六 関東軍命令（関作命第一四九六号） 七 参謀次長猪関東軍参謀長宛（参電三二三） 八 参
謀長猪小松原部隊参謀長宛（関参一電第七七七号） 九 〔関東軍〕参謀長猪小松原部隊長宛（関参一電第二四二号）
一〇 〔関東〕軍司令官猪〔参謀〕総長宛（関参一電第二四九号） 一一 参謀次長猪〔関東〕军参謀長宛（参電四九
一号） 一二 〔関東軍参謀部〕第一課長猪参謀本部庶務課長宛（関参一電第二五四号） 一三 〔関東軍〕参謀長猪

〔參謀〕次長宛〔閩參一電第二六四号〕 一四〔閩東軍〕參謀長宛〔參謀〕次長〔陸軍〕次官宛〔閩參一電第九〇一
 号〕 一五 參謀次長宛〔閩東軍〕參謀長宛〔參電五四七〕 一六〔閩東軍〕參謀長宛參謀次長宛〔閩參一電第二五
 八号〕 一七 對外蒙作戰計要綱〔案〕〔閩東軍司令官〕 一八 閩東軍命令〔閩作命第一五三〇号〕 一九 閩東
 軍命令〔閩作命第一五三二号〕 二〇 閩東軍命令〔閩作命甲第十二号〕 二一 閩東軍命令〔閩作命甲第五〇号〕
 二二〔閩東軍〕參謀長宛第二十三師團參謀長〔閩參一電第三八一号〕 二三〔閩東軍〕參謀長宛第二十三師團參謀長
 宛〔閩參一電第三八四号〕 二四〔閩東軍〕參謀長宛第二十三師團參謀長宛〔閩參一電第三九四号〕 二五 閩東軍
 命令〔閩作命甲第六六号〕 二六〔閩東〕軍司令官宛〔參謀〕總長〔陸軍〕大臣宛〔閩參一電第四〇三号〕 二七
 「ノモンハン」事件処理要綱〔大本營陸軍部〕 二八 軍務局長宛閩東軍參謀長宛〔軍務電八七九〕 二九 參謀本部
 總務部長宛閩東軍參謀長宛〔參電五九〇〕 三〇 閩東軍參謀長宛〔中山電第四号〕 三一〔閩東軍參謀部〕第一課
 長宛參謀本部庶務課長宛〔閩參一電第四五四号〕 三二 第二十三師團參謀長宛閩東軍參謀長宛〔二三師參電一三〇
 ？〕 三三〔參謀〕次長宛閩東軍參謀長宛〔第十九号〕 三四〔閩東軍〕參謀長宛〔參謀〕次長宛〔閩一電第四六八
 号〕 三五 閩東軍命令〔閩作命甲第一号〕 三六〔閩東軍〕參謀長宛第二飛行集團長宛〔閩參一電第三三二号〕 三七
 〔參謀〕次長宛〔閩東〕軍參謀長宛〔參電第七六八号〕 三八〔參謀部〕第一課長宛第二飛團參謀長宛〔閩參一電第
 三三三三号〕 三九〔參謀〕次長宛〔閩東〕軍參謀長宛〔參電第七七七号〕 四〇〔閩東軍〕參謀長宛〔參謀〕次長宛
 〔閩參一電〕第三三九号〕 四一 參謀總長宛〔閩東〕軍司令官宛〔參電第八二五号〕 四二 同上〔參電第八二
 六号〕 四三 參謀次長宛〔閩東〕軍參謀長宛〔參電第八二七号〕 四四〔閩東〕軍司令官宛〔參謀〕總長宛〔閩參
 一電第四〇四号〕 四五 參謀總長宛〔閩東〕軍司令官宛〔參電九三二〕 四六〔參謀〕次長宛〔閩東〕軍參謀長宛
 四七〔參謀次長宛？〕〔閩東軍參謀部第一課長〕意見具申 四八 大陸命第三百三十六号 四九 參謀總長宛〔閩東〕
 軍司令官宛〔參電六九号〕 五〇 參謀次長宛閩東軍參謀長宛〔參電第七〇号〕 五一「ノモンハン」事件ニ伴フ作
 戰準備促進要綱 五二「ノモンハン」事件処理要綱〔閩參一電第一六七〇号〕 五三 莫斯科〔駐在陸軍〕武官宛
 〔閩東〕軍參謀長宛〔第一三八号〕 五四 第六軍司令官宛〔閩東〕軍司令官宛〔六軍電七〕 五五〔閩東〕軍司令
 官宛參謀總長宛〔閩參一電第五三六号〕 五六 第二十三師團參謀長宛〔閩東軍〕參謀長宛〔二三師電第四三三三号〕
 五七〔第六軍司令官宛〕〔閩東〕軍司令官宛〔六軍電八六〕 五八 參謀次長宛閩東軍參謀長宛〔參電一五二〕 五九
 歐洲情報ノ交転ニ伴フ時局處理对策ニ関スル意見具申〔閩東軍司令官〕 六〇〔閩東〕軍司令官宛第六軍司令官宛

- 〔閩參一電五五〇号〕 六一 第六軍司令官宛〔閩東〕軍司令官宛〔二三師參電五〇四〕 六二 二十三師團參謀長
 宛閩東軍參謀長宛〔二三師參電第五二〇号〕 六三 阿部部隊長宛閩東軍司令官宛〔阿部本參電九六四〕 六四 〔閩
 東軍〕參謀長宛第六軍參謀長、海拉爾第八國境守備隊長宛〔閩參一電第五五四号〕 六五 第六軍司令官宛閩東軍參
 謀長宛〔六軍戰電一〇〕 六六 〔閩東軍〕參謀長宛〔參謀〕次長〔陸軍〕次官宛〔閩參一電第五五八号〕 六七 第一
 課高級參謀宛第六軍參謀長宛〔閩參一電第五五九号〕 六八 第六軍參謀長宛閩東軍第一課長宛〔六軍戰電第一三三
 六九 〔第六軍參謀長宛〕〔閩東軍〕參謀長宛〔六軍戰電一五〕 七〇 同上〔六軍戰電第二三三〕 七一 〔第二十三
 師團參謀長宛〕〔閩東軍〕參謀長宛〔二三師參電五四八号〕 七二 同上〔二十三師參電五五二〕 七三 第六軍司令
 官宛〔閩東軍〕參謀長宛〔六軍戰參電第八二号〕 七四 參謀本部總務部長宛〔閩東〕軍參謀長宛〔參電第七四九号〕
 七五 參謀次長宛閩東軍參謀長宛〔參電〕第一六四号〕 七六 〔閩東軍〕參謀長宛參謀次長宛〔閩參一電第五六五
 号〕 七七 〔參謀次長宛〕閩東軍參謀長宛〔參電第二二〇号〕 七八 〔第六軍〕參謀長宛閩東軍參謀長宛〔六軍戰
 電九二〕 七九 同上〔六軍戰電第九七号〕 八〇 同上〔六軍戰電第一〇六号〕 八一 大陸命第三百四十三号
 八二 〔第六軍司令官〕宛〔閩東軍〕參謀長宛〔六軍戰電一四八号〕 八三 訓示〔閩東軍司令官〕 八四 參謀總長
 宛閩東軍司令官宛〔參電〕第二八七号〕 八五 閩東軍命令〔閩作命甲第一七八号〕 八六 〔閩東〕軍司令官宛
 〔參謀〕總長宛〔閩參一電〕第七三九号〕 八七 〔閩東〕軍司令官宛〔陸軍〕大臣宛〔第四七一号〕 八八 〔閩
 東〕軍司令官宛〔參謀〕總長宛〔閩參一電〕第七四〇号〕 八九 〔閩東軍〕參謀長宛〔參謀〕次長宛〔閩參一電〕
 第七四二号〕 九〇 〔閩東軍〕參謀長宛〔陸軍〕次官宛 九一 〔閩東軍〕參謀長宛〔參謀〕次長宛〔閩參一電第七
 四六号〕 九二 〔陸軍〕次官宛〔閩東〕軍參謀長宛〔陸滿密電一三三〕 九三 參謀總長宛〔閩東〕軍司令官宛
 九四 同上〔參電第三三〇号〕 九五 陸軍大臣宛〔閩東〕軍司令官宛 九六 〔閩東〕軍司令官宛〔參謀〕總長宛
 〔案〕 九七 同上〔閩參一電〕〔第七五四号〕 九八 閩東軍命令〔閩作命甲第一七八号〕 九九 〔第〕六軍司令
 官宛〔閩東〕軍參謀長宛〔六軍戰電第二九〇号〕 一〇〇 〔閩東〕軍司令官宛第六軍司令官宛〔閩參一電〕第七六
 〇号〕 一〇一 〔在〕蘇〔聯〕邦武官宛〔閩東〕軍參謀長宛〔一二七二号〕 一〇二 第二十三師團參謀長宛〔閩東〕
 軍司令官宛〔二三師參電第七六八号〕 一〇三 第二十三師團長宛〔閩東〕軍司令官宛〔二三師參電第九六七号〕
 一〇四 〔閩東〕軍司令官宛〔參謀〕總長、〔陸軍〕大臣宛〔閩參一電第七六六号〕

三 日独伊防共協定強化問題

五 日独伊「三国協定問題」の経緯（陸軍省軍務課）……………一五

六 日独伊三国協定問題経緯（海軍省軍務局第一課）……………一六

七 防共軸強化問題経過（外務省欧亜局第二課）……………一六

八 経過日誌……………一七

日独伊防共協定研究方針（五相會議決定、昭和十三年七月十九日） 日独及日伊間政治的關係研究に関する方針案（五相會議提出）、七月十九日） 日独伊防共協定強化に関する件（陸軍案？）、七月二十六日） 〔所謂笠原携行案〕（八月七日） 〔五相會議提出外務案〕（八月十二日） 日独政治的提携強化方針要領（同上） 〔山本海軍次官質疑〕（八月十九日） 海軍次官の質問に対する説明案（軍務局一課案、八月二十日） 外務省案（外相〔海相に〕持参、八月二十五日） 日独伊防共協定強化案（五相會議決定、八月二十六日） 陸海軍次官発大島（陸軍）、小島〔海軍〕兩〔在独〕武官宛電報（陸電二三五号、八月二十九日） 陸軍次官発大島〔武官〕宛電報（陸電二三六号、八月二十九日） 宇垣外務大臣発在独東郷大使宛暗第三二六号（八月三十一日） 同上暗第三二七号（同上） 同上暗第三二八号（同上） 協議及相互援助に関する日本国、伊太利国及独逸国間協定（案）（外務修正案、九月九日） 日独伊問題新外務案に対する改正意見（軍令部、九月十二日） 新外務案に対する海軍改正意見（九月十四日） 最後に妥協を要する場合の海軍修正案（九月十七日） 〔海軍〕次官、〔軍令部〕次長発在独〔海軍〕武官宛電報（九月十九日） 次官、次長発在伊〔大使〕館附〔海軍〕武官宛電報（十月十二日） 〔外務修正案に対する〕陸軍修正案（十月二十五日） 在独大島大使発有田外務大臣宛第六〇号（十一月一日） 日独伊防共協定強化に関する件（五相會議決定、十一月十一日） 協議及相互援助に関する日本国、伊太利国及独逸国間協定（案）（外務第二次〔修正〕案、十二月一日） 駐日伊国海軍武官来省対案提示の件（十二月二日） 大島大使発有田外務大臣宛第七五九号（十二月五日） 〔在伊陸軍武官発参謀次長宛伊電第三二七号〕（十二月一日） 大島大使発有田外務大臣宛電報（十二月十日） 在

- 伊陸軍武官発参謀次長宛伊電第三八二号(十二月十六日)〔海軍作製の〕妥協案(陸海軍大臣決裁、十二月十九日) 在独陸軍武官発参謀次長宛独電第五〇八号(十二月二十日) 大島大使発有田外務大臣宛第二号(昭和十四年一月三日) 同上第三号(一月四日) 同上第十六号(一月八日) 同上第十七号(同上) 同上第十八号(同上) 〔在伊〕白島大使発有田外務大臣宛第二号(一月八日) 大島大使発有田外務大臣宛第三号(一月十日) 同上第二四号(同上) 同上第二五号(同上) 白島大使発有田外務大臣宛第四号(一月十二日) 陸軍案提案(五相會議陸相提案、一月十七日) 日独伊協定外務案に対する〔海軍〕修正意見の件(一月十七日) 五相會議決定(一月十九日) 日独伊防共協定強化に関する有田大臣内奏要旨(一月二十二日) 帝國政府の根本方針に関する大島白島両大使発有田外務大臣訓令案(五相會議外相提案、一月二十五日) 有田外務大臣発大島白島両大使宛訓令(一月二十六日) 大島大使発有田外務大臣宛第九二号(一月三十一日) 同上第一七六号(三月四日) 同上第一七七号(同上) 同上第一八五号(三月五日) 同上第一九〇号(三月六日) 同上第一九二号(三月七日) 白島大使発有田外務大臣宛第五〇号(三月九日) 〔五相會議外相提案〕(三月十七日) 白島大使発有田外務大臣宛第五九号(三月十六日) 同上第六〇号(同上) 〔両大使宛〕外務大臣回電案(五相會議海相配布、三月十八日) 同上(陸軍案、三月十八日) 在独大使館附〔陸軍〕武官発〔参謀本部〕総務部長宛第六二三号(三月十七日) 外務大臣回電案修正の件(海軍案、三月二十二日) 外務大臣回電案(五相會議決定、三月二十四日) 白島大島両大使宛外務大臣回電写(三月二十五日) 白島大使発有田外務大臣宛第七九号(三月三十一日) 外務大臣返電要旨〔海軍主務者私案〕(四月二日) 白島大使発有田外務大臣宛第八四号(四月三日) 大島大使発有田外務大臣宛第三一五号(四月四日) 同上第三一八号(四月五日) 同上第三二二号(同上) 在独大使宛訓電〔海軍修正〕案(四月七日) 白島大使発有田外務大臣宛第八七号(四月六日) 有田外務大臣発在独大島大使宛第二四号(四月八日) 大島大使発有田外務大臣宛第三四四号(四月十一日) 同上第三四九号(四月十二日) 同上第三九八号(同上) 白島大使発有田外務大臣宛第九九号(四月十一日) 海相手記〔の〕覚〔写〕(四月十三日) 大島大使発有田外務大臣宛第三六五号(四月十九日) 同上第三六九号(四月二十一日) 同上第三七〇号(同上) 同上第三七一号(同上) 有田外務大臣発大島大使宛暗第三三八号(四月二十三日) 大島大使発有田外務大臣宛第三七五号(四月二十四日) 白島大使発有田外務大臣宛第一一七号(四月二十九日) 平沼総理より「ヒットラー」総統及「ムッソリーニ」首相宛「メッセーヂ」(口述書)案(五月二日) 大島大使発有田外務大臣宛第三九五号(五月三日) 同上第三九六号(同上) 同上

第三九七号(同上) 同上第三九八号(同上) 同上第四〇三号(五月四日) 両大使宛有田外務大臣回電〔海軍〕案(五月三日) 有田外務大臣宛大島大使宛暗第二二六号(五月五日) 同上暗第二六三号(同上) 同上第二六六号(同上) 〔海相手記の覚の写?〕(五相会議、五月七日) 同上(五相会議、五月九日) 大島大使宛有田外務大臣宛第四二二号(五月八日) 日独伊協定締結に関する大本営陸軍部の意見〔作戦課内奏案?、五月九日乃至十日?〕 白鳥大使宛有田外務大臣宛第一二五号(五月九日) 同上第一二六号(五月十日) 大島大使宛有田外務大臣宛(五月十二日) 白鳥大使宛有田外務大臣宛第一三〇号(五月十三日) 同上第一三一号(同上) 陸海軍省主務者会談に関する陸海軍同文覚書(五月十五日) 大島大使宛有田外務大臣宛第四四二号(五月十四日) 同上第四四三号(同上) 〔海相手記の覚の写?〕(総理海相会談、五月十六日) 大島大使宛有田外務大臣宛第四四五号(五月十五日) 白鳥大使宛有田外務大臣宛第一三四号(五月十六日) 同上第一三五号(同上) 陸海軍大臣協定の「メモ」(海相筆記、五月十七日) 軍令部参〔謀〕本〔部〕主務省協定案骨子(五月十八日?) 陸軍大臣宛海軍大臣覚(五月十八日) 大島大使宛有田外務大臣宛第四五八号(五月十八日) 同上第四五九号(同上) 同上第四六〇号(同上) 同上第四六三号(同上) 〔海相手記の覚の写?〕(海陸相会談、五月十九日) 有田外務大臣宛大島大使宛第二九七号(五月二十日) 同上第二九八号(同上) 五月十九日の五相會議決定に関する海軍側の主張(〔外務事務当局〕) 大島大使宛有田外務大臣宛第四六八号(五月十九日) 白鳥大使宛有田外相宛第一三九号(五月二十日) 同上第一四一号(五月二十一日) 在米堀内大使宛有田外務大臣宛第四二三号(五月二十一日) 同上第四二四号(同上) 在独大使宛回訓案(〔外務大臣原案、五月二十三日〕) 外務大臣原案に対する総理修正案(五月二十三日) 在独大使宛回訓案(〔軍令部〕横井大佐案、五月二十四日) 駐独伊大使宛電報案(〔外務大臣〕) 大島大使宛有田外務大臣宛電報(五月二十二日) 〔海相手記の覚の写?〕(首領海相会談、五月二十六日) 陸海軍主務者会談覚書(五月二十七日、二十八日) 本件の現状に対する陸海軍側の気持(〔外務事務当局〕) 駐独伊大使宛電報案(陸軍案) 同上(〔海軍案?〕) 六月二日) 駐独伊大使宛外務大臣回訓電第三二六号(六月六日) 米國が英仏側に参戦したる場合に於ける我國の採るべき態度に関する件(五相會議決定、六月五日) 白鳥大使宛有田外務大臣宛第一五八号(六月十一日) 大島大使宛有田外務大臣宛第五四四号(六月十五日) 同上第五四五号(同上) 同上第五四七号(六月十六日) 同上第五四八号(同上) 同上第五五一号(同上) 同上第五四四号(六月十七日) 海相より陸相へ申入れ(七月一日) 白鳥大使宛有田外務大臣宛電報(七月十一日) 同上第一九二号(同上) 同上第一

九九号(七月十三日) 同上第二〇〇号(同上) 同上(七月十四日) 協定問題参考(陸軍大臣より〔海軍大臣〕受、七月十八日) 陸軍三長官會議決定(八月三日) 在独大島大使宛宛訓電案(外務省案、八月十日) 在独大島大使宛有田外務大臣電報(八月二十五日)

九 參考資料

一 对英感情は何故に悪化したか(軍令部) 二 意見書 三 日独伊三国提携の強化に関する件 四 〔宇垣外相との会談〕覚 五 猶太人対策要綱 六 満洲国及洪牙利の防共協定参加方に関する件(五相會議決定案) 七 我對独伊と对英米關係 八 日独伊三国協定問題の経緯(陸軍省)

四 北部仏印進駐

一〇 仏印關係折衝経緯(軍令部)

仏国を利導する事変処理要領(參謀本部主任者、昭和十五年六月一日) 仏国利導方策(參謀本部案、七月七日) 对仏印方策に関する研究(軍令部第一課、八月五日) 在「グイシー」澤田大使宛松岡外務大臣宛電報(八月十二日) 对仏印交渉條件に関する件(參謀本部軍令部間協議、八月十六日) 澤田大使宛松岡外務大臣宛電報(八月十七日) 仏印問題に関する八月二十日松岡大臣「アンリー」大使會談要領 仏印問題に関する仏国側提案要領 大橋次官「アンリー」大使會談要領 我方軍事的要求に関する具体的事項(〔西〕歐亞局長内示、八月二十一日) 澤田大使宛松岡外務大臣宛電報(八月二十四日) 大橋次官「アンリー」大使會談(八月二十五日) 西原少將ニ与フル指示(八月二十七日) 外務大臣より「アンリー」宛申入れ希望(大本營陸軍部、海軍部、八月二十七日) 八月二十九日在京仏參事官より歐亞局長に提示せる仏印問題に関する仏大使來翰改正案本文仮訳 外務大臣回答案(八月二十九日) 八月三十日松岡外相より口頭を以て仏大使に申入(交換公文に際し)(八月三十日) 澤田大使宛松岡外務大臣宛電報(九月二日) 仏印問題處理方策(案)(九月十日)

一一 〔仏印關係〕現地折衝〔日表〕(軍令部)

一二 仏印海軍派遣委員長書信（柳澤蔵之助大佐）…………… 四〇〇

五 南進論

一三 南支産業開発綱領（臺灣総督府）…………… 四〇三

一四 廣州処理方針（臺灣総督府）…………… 四〇四

一五 汕頭処理方針（臺灣総督府）…………… 四〇七

一六 海南島処理方針（臺灣総督府）…………… 四〇九

一七 南方外地統治組織拡充強化方策（臺灣総督府）…………… 四一〇

一八 帝国の急要施策（小磯國昭大将）…………… 四一六

一九 協議意見第一（小磯國昭大将）…………… 四二一

二〇 蘭印対策要綱（小磯國昭大将）…………… 四二六

二一 協議意見第二（小磯國昭大将）…………… 四三三

二二 蘭印（仏印、馬來等）農業自衛移民計画（櫻井陸軍大佐）…………… 四三九

六 世界情勢の推移に伴う時局処理要綱

二三 時局処理要綱に関する質疑応答資料（軍令部）…………… 四七七

二四	時局処理要綱に関する覚（軍令部）	五〇四
	七 泰仏印間国境紛争調停	
二五	泰国の失地恢復斡旋に關聯する對泰並に對仏印施策の件（四相會議）	五二
二六	「タイ」 仏印国境紛争調停成立に至る迄の経緯（外務省）	五三
二七	參謀長会同席上に於ける第二部長口演要旨（參謀本部）	五七
	八 南部仏印進駐	
二八	陸軍少將澄田欸四郎に与ふる訓令（參謀總長、軍令部總長）	五二
二九	同別冊第一 對仏印平和進駐ニ關スル陸海軍中央協定（參謀本部、軍令部）	五三
三〇	同別冊第二 南部仏印に軍隊駐屯の爲外交と統帥との連繫 に關する説明事項（案）（參謀本部、軍令部）	五五
三一	同別冊第三 對仏印作戦ニ關スル陸海軍中央協定（參謀本部、軍令部）	五七
三二	同別冊第三の別冊 武力行使の時機決定要領（案）（參謀本部第二課）	五九
三三	泰へ英國武力進駐成起スルヤ否ヤノ判断（參謀本部）	六一

九 開戦前における物的国力判断

- 三四 戦争遂行に関する物資動員上よりの要望（企画院）…………… 五五
 - 三五 重要物資の供給算定資料（企画院）…………… 五五
 - 三六 査定最底民需石油量と其の需給状況（企画院）…………… 五六
 - 三七 戦争を考慮せる場合の海上輸送力（民需）及之
に伴ふ重要物資に対する配船の見透（企画院）…………… 五六
 - 三八 物資関係に対し本年度中に措置すべき緊急事項（企画院）…………… 五七
 - 三九 海上輸送力の変更と物資別配船及之に伴ふ石炭、鉄、米の検討
資料（企画院）…………… 六〇
 - 四〇 臥薪嘗胆の場合の検討資料（企画院）…………… 六七
- 附 録
- 四一 戦争指導計画書（日滿財政経済研究会）…………… 六七
 - 四二 国防産業拡充五ヶ年計画遂行見込表（試案）（日滿財政経済研究会）…………… 六九